

## 今週のメニュー

■ [トピックス](#)

◇PVC News No. 84号を発行しました

塩化ビニル環境対策協議会

■ [随想](#)

◇日本のお祭りシリーズ（その1）

ー男鹿半島で「なまはげ」を見たぞ！ー

関東学院大学 織 朱實

■ [編集後記](#)■ [トピックス](#)

◇PVC News No. 84号を発行しました

塩化ビニル環境対策協議会

3月14日に塩化ビニル環境対策協議会（JPEC）は[PVC News No.84](#)を発行しました。今号の「トップニュース」は、第二回の「PVC Design Award」の表彰式と展示会を紹介しています。

No. 84号の構成は以下の通りです。

○ [トップニュース](#)

特集／「PVC Design Award 2012」

ー初の大賞に、鈴木伸也さんのアイデア作品「PUSHION」

フレッシュな刺激あふれる応募作品の数々。厳正審査で18件を表彰

「PVC Design Award 2012」展示会、東京・大阪・名古屋で連続開催

ー東京会場はデザインのメッカ・六本木。創意あふれる作品の数々が来場者を魅了

○ [シリーズインタビュー/さきがけびと登場](#)

伝統と改革、その両立をめざして

ーものづくり400年、陶芸のふるさと・有田町の再生へ挑戦し続ける女性たち

有田町づくり女性懇話会 会長 西山 美穂子 氏

○ [リサイクルの現場から](#)

新和環境(株)の塩ビ壁紙リサイクル事業

ー国内唯一の貴重な取り組み。叩解分離技術で塩ビとパルプを丸ごと再資源化

○ [インフォメーション](#)

「塩ビ製水道管をめぐる最新情報」ー塩化ビニル管・継手協会

ーより高い耐震性能を求めて、塩ビバンドの埋設実験、耐震金具の規格化など

○ [講演会レポート](#)

東京・大阪でJPECセミナー連続開催

ー「シェール革命とは何か」をテーマに伊原 賢 博士が講演（東京セミナー）

○ [広報だより](#)

・国内最大の環境展「エコプロダクツ2012」に出展（VEC/JPEC）

「PVCは環境に優れたエコ素材！」をコンセプトに、環境素材・塩ビの魅力をアピール

掲載記事をいくつかご紹介いたします。

「トップニュース」は特集として「PVC Design Award 2012」の表彰式と東京・大阪・名古屋での展示会の様子を紹介しました。二回目を迎えた今回は、プロのデザイナーからの応募が増え、応募された作品・製品のレベルの高さを強く感じる事が出来るものでした。



PVC Design Award 2012  
大賞作品「PUSHION」

「シリーズインタビュー/さきがけびと登場」は有田町づくり女性懇話会 会長 西山 美穂子氏に登場願いました。『伝統と改革、その両立をめざして』と題し、陶器の町の有田町の現状と地域再生への取組みを力強く語って頂きました。

古民家を改築した小路庵しゅうじあんで毎月開催している有田の郷土料理を頂く会には、多くの方が訪れるそうです。

「リサイクルの現場から」は、新和環境(株)の塩ビ壁紙リサイクル事業について紹介しました。複合素材でリサイクルが難しいとされてきた塩ビの壁紙。その壁紙を紙と塩ビとに叩いて分ける技術。リサイクルの貴重な取り組みを取材しました。

『PVCニュース』は[JPECのホームページ](#)から、最新号、バックナンバー共にご覧頂けます。

ご講読を希望される方は、[こちら](#)まで、送付先・TEL・希望部数などをご連絡下さい。

## ■ 随想

### ◇日本のお祭りシリーズ（その1）

ー男鹿半島で「なまはげ」を見たぞ！ー

関東学院大学 織 朱實

「[びっくり闘病記](#)」の連載も無事に終わりました。この連載は、私が思っていたより多くの方の目に触れていたようで、審議会やシンポジウムの場でよく「メルマガ読みました。もう大丈夫なのですか？」と声をかけられました。皆さん、心配してくださって本当に有難うございます。外科系の病気は、内科系の病気と異なり、悪いところだけとってしまえば意外とすっきりするようで、今ではみなさんがびっくりするくらい元気！です。

とはいえ、去年は海外出張も控え、国内で大人しくリハビリ、職場復帰に向けての体調調整など、にいそしんでいました。そうなると、今まで写真やブログのネタは、海外出張の際の変わった風景だったので、ネタがない？困った～。

いえいえ、海外から国内に目を向けると、日本全国、身近なところから遠いところまで、まだまだ知らない風習や素晴らしい見どころが沢山あります。ということで、今年はテーマを「日本のお祭り」として、季節ごとに身近な所、出張とあわせて行った所の写真を撮ってご紹介したいと思います。

もともと、古くからその地域にある伝統芸能や風習は環境保護の内容を含んでいることも多く、町おこし、環境保護、文化伝統保護を一体とした取組事例をいろいろと調査して

いるので、その一環という口実もあります（本当は、ただのお祭り、地方好き！なのですが。笑）。それに、初対面のかたでも、「ご出身どこですか？面白いお祭りとかありますか？見どころはどこですか？」と伺うと、会話が弾みネットワークづくりに一役買ってくれるというメリットもあります。



ということで、まずは冬のお祭り。東北の冬の五大祭りの一つ、秋田県男鹿の紫灯まつり、いわゆる『なまはげ祭り』です。たまたま日経日曜版のなんでもランキング([日経 冬のお祭りランキングURL](#))「冬のお祭り編」で第二位を取っていたのがこの男鹿の紫灯祭り。今年は、50周年記念でなんと男鹿半島のなまはげ50匹が勢ぞろい！このチャンスを逃すと、50匹



揃い踏みを見られるのは、50年後？マイレージも辛うじて秋田往復分は残っていることもあり、3連休ということもあり、男鹿観光課のサイトから検索し温泉宿も素泊まり5000円でとれたこともあり、ぶらっと2月初旬に男鹿半島へ！

いざ男鹿半島へ、といっても、調べてみるとそのアクセスの悪さにびっくりすることになるのですけれどね。秋田空港—〔リムジン〕—秋田駅—〔男鹿線〕—男鹿駅

からはバスで男鹿温泉郷入りという方法で、自宅から軽く5時間。エアポートタクシー(乗合一人3600円)を利用すると、空港から旅館まで1時間30分。でもなぜか、このエアポートタクシーは飛行機の到着に合わせてくれておらず、空き時間がかかりでしてしまうという問題があったのですが、効率よく回ろうと思うとこれが一番ですね。



なまはげ下山 —雪の中、幻想的—

のですが、お祭りがどのように進行するのか流れがわかっておらず右往左往してしまい、儀式自体は人の頭の間から見る感じで、写真どころでは～)。約3時間のお祭りのメインは、このなまはげ入魂となまはげが村に降りてくるなまはげ下山ですが、それだけでなく、なまはげの踊りになまはげの太鼓、餅ふるまい、とイベントが盛りだくさんです。

場所をかえて狭い境内のなかあちらこちらでなまはげた

紫灯祭りは、村からバスで15分くらいの真山神社で18時30分から行われました。神官に、入魂された若者たちが、なまはげのお面を付け、山へ登っていきます。人から、なまはげに変わっていくのですね（この入魂の儀式の写真を撮りたかった



ちは大忙し。お祭り参加者も、あっちへ、こっちへと結構大変です。でも、各村のなまはげさんたちが、サービス精神旺盛で、参加者を一生懸命脅してくれているのが、とても楽しいイベントです。最後のクライマックス、松明を掲げながら入魂されたなまはげ達が下山する様子は、雪の中本当に幻想的でした。

そして、今年が目玉の50匹のなまはげ勢ぞろい（なまはげは、「匹」で数えるそうです）も、期待通りの凄い迫力です。男鹿半島のそれぞれの村のなまはげが、一斉に雄叫びをあげるのです。「悪い子はいねえが〜！」「なまけものはいねえが〜」

雄叫びをあげながら、順次会場に散らばっていく50匹のなまはげたち。その後、なまはげの踊り、なまはげ太鼓など次々披露され、最後は紫灯の焚火で焼かれたお餅が、なまはげの手で配られます。ご利益があるそうです。



なまはげ勢ぞろい  
一斉に雄叫びをあげ、凄い迫力！

面白かったのは、なまはげが男鹿の村ごとに違うことです。一般的には、なまはげは赤鬼、青鬼のイメージですが、そのような鬼のかたちをしたお面はむしろ最近のもので、「千と千尋の神隠し」に出てくる神様のようにのっぺりしたものや、丸い顔のなまはげとか、本当に色々ななまはげがいます。もともと、「なまはげ」はこんなもの、という実態がないので、村ごとに自分たちがイメージするなまはげを伝承しているそうです。このなまはげの由来もまた諸説あるようですが、タクシーの運転手さんから聞いた面白い説は、実は「漂流したロシア人」だったということ。



赤鬼、青鬼、のっぺり系緑鬼

男鹿の人たちが、このお祭りを盛り上げようと会場設置、会場案内、交通誘導などみんな総出という感じも、とても良かったです。なまはげはこんなものだろう〜という既成概念が壊された、面白い旅でした。



万体仏堂  
時間を忘れて見入ってしまいます

男鹿にはこのほか万体仏堂という素晴らしい祠もありました。吹きさらしの小さな祠の中に、壁を天井まで埋め尽くす木彫りの素朴な仏様！200年くらい前から、お供えされているものだそうです。木製なので一つ朽ち果てると、また誰かが新しい仏様を彫ってそこにに入れていくそうです。幸せになりたい、仏様をお願いする気持ちが素直にわいてくる素敵な場所でした。

次回は、東北五大祭りのもう一つ、八戸えんぶり祭りをご紹介しますね。ブログもよければ是非見てください。

⇒ [ブログはこちら](#) ⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

先週末に東京では桜の開花宣言が出ました。今週末ごろには桜の名所の上野公園や千鳥ヶ淵も満開ではないでしょうか。今年は2月が非常に寒く、3月の初旬に夏日となるなど気温の変動が激しかったことから桜の体内時計が狂ったのかも知れません。これでは卒業式に桜咲く、入学式には桜散るになりそうです。(可)



## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

---

---